



2022年7月15日

各 位

会社名 日置電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡澤 尊宏
(コード番号 6866 東証プライム)
問合せ先 取締役専務執行役員最高財務責任者 (CFO)
兼 総務部長 巢山 芳計
(TEL 0268-28-0555)

連結業績予想との差異に関するお知らせ

2022年4月12日付「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表した2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異(2022年1月1日~2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	3,570	3,700	2,780	203.71
実績 (B)	15,882	3,140	3,401	2,503	183.40
増減額 (B - A)	△1,117	△429	△298	△276	
増減率 (%)	△6.6	△12.0	△8.1	△10.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	14,639	3,133	3,231	2,432	178.29

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、脱炭素化に向けた世界各国の取り組みを受けてバッテリー、デバイス、エネルギーといった市場の計測器需要は引き続き高い状態で推移するとともに、海外市場における計測器需要も幅広い地域で好調に推移し、受注高は過去最高になりました。一方で、当社販売子会社が本社を置く中国上海市の3月下旬から5月末まで約2か月間にわたるロックダウンにより、顧客への製品出荷ができない状況が続いた結果、円安による増益はあったものの、前回公表した業績予想を下回る結果になりました。

なお、上海市のロックダウンにより製品出荷が滞っていた影響は7月中に解消できる見込みであり、通期業績予想につきましては、前回公表の業績予想数値及び配当予想を変更しておりません。

半導体等の部品需給の逼迫、新型コロナウイルス感染症拡大、ロシアによるウクライナ侵攻による影響、急速に円安が進む為替相場など不確実性が高い要素も多く、今後の状況により連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

(ご参考)

1. 受注高

前第2四半期連結累計期間 (2021年1月1日～ 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年6月30日)	増減	
百万円 15,664	百万円 19,547	百万円 3,883	% 24.8

2. 受注残高

前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)	増減	
百万円 4,881	百万円 8,546	百万円 3,665	% 75.1

以上